



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

電線を地中化して 電柱を撤去します

地元の声

- ・駅前なのできれいなまち、道路にしてほしい。（地元住民）
- ・地震の際など電柱が倒れて、緊急車両の通行が出来なくなると困る。（地元住民）

事業前

- ◆ 電柱があるため、歩行者の通行の支障となっており、災害時には電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

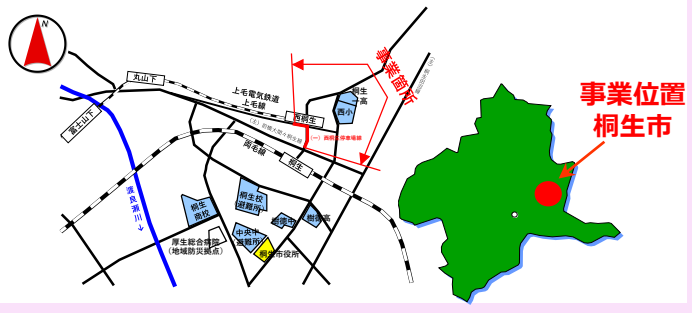
- ◆ 道路上の電柱が無くなり、歩行者が通行する際に安全な通行空間が確保されます。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：桐生市宮前町～末広町
- 事業内容：電線共同溝整備 延長400m
- 事業期間：平成28年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



事業のすすみ具合



今、何をしているか

R 6年度は、本体管路工事を行います。

